

自然と話そう、人と話そう!

安威川 | ニュース

安威川ダム建設工事の進捗

安威川ダム「試験湛水」を開始しました

洪水の危険から安威川流域を守る

ダムの機能と役割について

臨時号

令和4年(2022年)11月号

TALKS!
AIGAWA



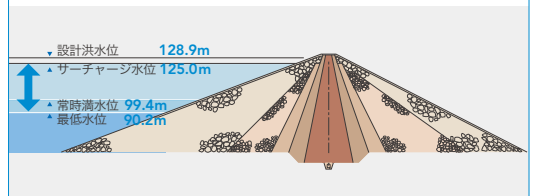
安威川ダム「試験湛水」を開始しました。

安威川ダムは、死傷者61名を含む甚大な水害となった1967年(昭和42年)7月の北摂豪雨災害を契機に計画を立案し、昭和63年国庫補助事業としての採択、平成11年には事業用地買収の開始、そして、平成26年にダム建設工事に着手し、本年1月の堤体盛立完了後、4月に非常用洪水吐き、8月に基礎処理工※が完了し、令和4年9月5日に仮排水路トンネルをゲートで閉じ、試験湛水を開始しました。今後、最高水位(サーチャージ水位)まで貯水位を上昇させた後、最低水位まで降下させ試験湛水を完了させます。

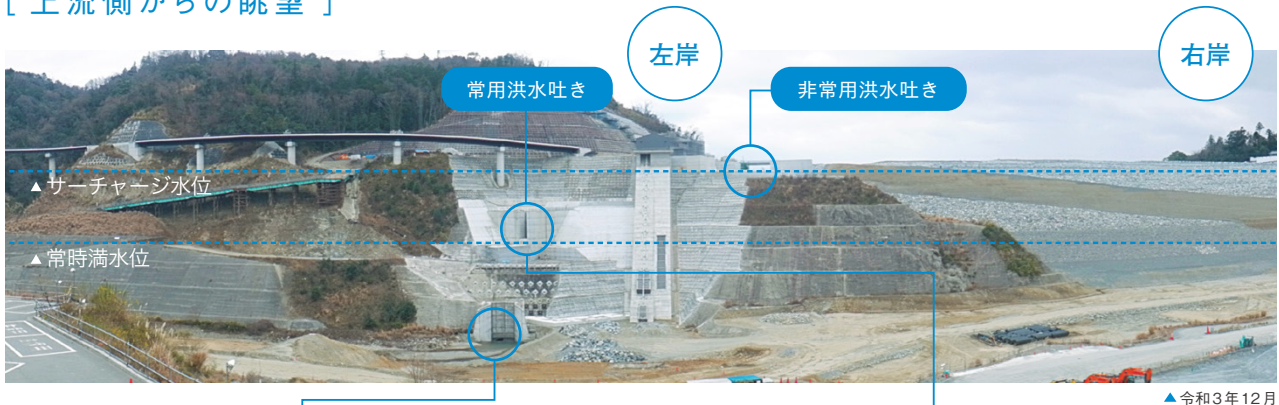
※岩盤内の亀裂を通してダム湖の水が下流に流出することを防ぐため、亀裂にセメントミルク(セメント+水)を注入するもの。

試験湛水とは

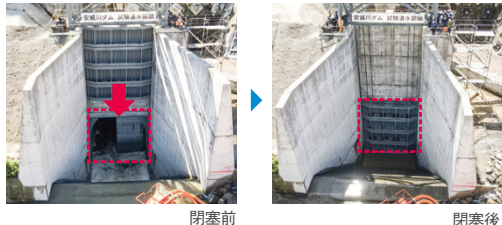
治水計画上の最高水位(サーチャージ水位)まで水を溜め、その後、普段の水位(常時満水位～最低水位)まで降下させ堤体や貯水池周辺斜面の健全性を確認する試験です。



[上流側からの眺望]

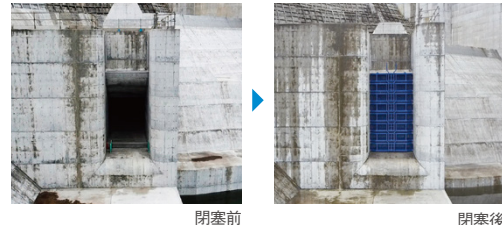


仮排水路トンネル 閉塞



令和4年9月5日午前10時10分に、仮排水路トンネルをゲートで閉じ、試験湛水が始まりました。

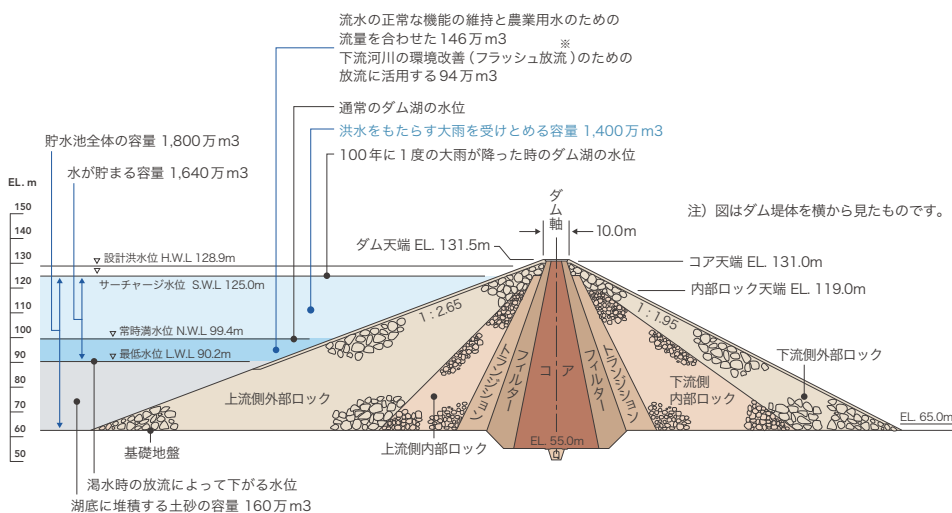
常用洪水吐き 閉塞



令和4年10月15日午後2時10分には、常用洪水吐きもゲートで閉じ、サーチャージ水位まで貯水位を上昇させます。このゲートは普段の水位に下降するまでは閉じたままです。

ダムの構造

安威川ダムは、中心に土でコアをつくり、外部に岩を積み上げてつくる、**ロックフィルダム**という工法を採用しています。



盛立中



下流からダム堤体を望む

安威川ダムの機能と役割

[安威川ダムの洪水調節の仕組み]

安威川ダムは治水計画に基づき、100年に一度起こりうる想定される規模の大雨でも下流の河川を氾濫させない施設としてつくられています。ダムによる洪水調節は人による操作を行わず、貯水位に応じて洪水吐から自然に流れていく「自然調節方式」を採用しています。

平常時

下流河川の維持のために必要な水の確保や、フラッシュ放流[※]のための水を必要な分だけ、取水設備から取り込み放流管のルートで放流します。

※フラッシュ放流

ダムは大きな出水を減らしますが、同時に日頃生じる小さな出水も減らしてしまうため、下流河川の状態が変わる懸念があります。ダムに貯めた水を放流することで人工的に下流の河川敷に水が被らない程度の出水を起こしてダム建設による自然環境への影響を可能な限り緩和します。

洪水時

洪水時の流出ルートは「常用洪水吐き」と「非常用洪水吐き」の2系統があります。

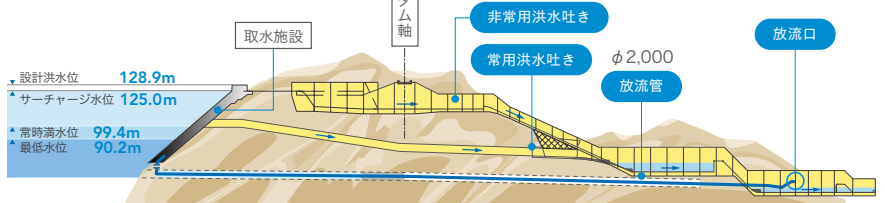
常用洪水吐き

常用洪水吐きはダムの治水計画の範囲内の降雨・出水があった場合、貯水池の水を安全に下流へ流す施設です。

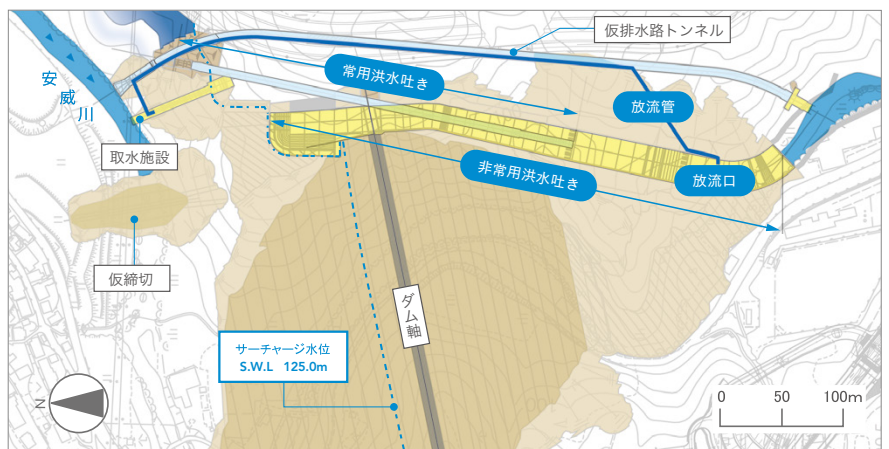
非常用洪水吐き

貯水池の水位がダムの高さを越えないように、ダムの治水計画を超える降雨・出水（超過洪水）があった場合でも、貯水池の水を下流に流すことができる施設です。

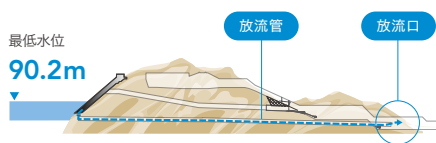
●洪水吐き・放流管縦断面図



●洪水吐き・放流管俯瞰図



平常時

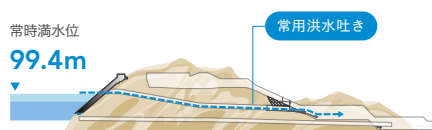


下流河川の維持に関する水をダムから放流

下流河川では大きな増水はなく、穏やかな流況。



出水時



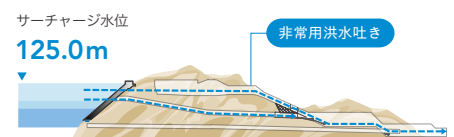
ダムの洪水調節機能を発揮し、下流への流出を制御

下流河川では増水は見られるものの氾濫の恐れなし。



治水計画上の最大降雨

※100年に一度の降雨
時間雨量:80mm程度 日雨量:250mm程度



ダムの洪水調節機能を最大限発揮し、下流への流出を大きく制御

下流河川はかなり増水となるが、氾濫はなし。



黄色着色箇所はダムができる以前の河川からの氾濫（道路側溝、下水施設等からの浸水は含まない）による浸水想定であり、ダムができることで守られる区域。



放流時の警報について

安威川ダムから茨木川合流点までの安威川堤防上に
9ヶ所の警報装置が設置されています。

警報装置は、洪水時において、常用洪水吐きからの貯水池の水の流出により下流河川で急激に水位上昇する恐れがある時や非常用洪水吐きから貯水池の水が流出する恐れがある場合、平常時においては、フラッシュ放流を実施する場合に、河川利用者の避難誘導、安全確保のため吹鳴します。警報装置には電光表示板やスピーカーが備え付けられていて、放送やサイレンにより注意喚起を行うと共に警報車による巡視も行います。

試験湛水の様子が一望できる 「安威川ダム展望スポット」。

ダムの建設現場の様子を一望できる場として開放していた「安威川ダム展望広場」は、令和4年6月30日をもって閉鎖しました。令和4年7月1日からは新たに「安威川ダム展望スポット」を設置しました。ここではダム堤体や試験湛水の様子をより間近でご覧いただくことができますので、是非お立ち寄りください。

アクセス

- 阪急茨木市駅より、阪急バス89番「車作」行き乗車
→「大門北」停留所下車 徒歩10分
- 車でお越しの方は右記駐車場に、
平日10時から16時まで停めていただくことができます。
※土日祝は閉鎖



「安威川ダム展望スポット」は、安威川ダム建設地すぐ近くの、大門寺北側高台ゾーンにあります。

【安威川ダム情報交流センター】

ダム周辺の巨大ジオラマや、 ダムの立体模型を観に行こう！

安威川ダムについて皆さんに知っていただくために、「安威川ダム情報交流センター」を開設しています。ダムの役割やダム周辺の環境保全対策について、広く一般の方々に情報を提供するとともに、ご意見を頂くことを目的としています。センター内では、ダム事業地周辺の立体模型やパース、パネルの展示、パンフレットの配布、ビデオ放映を行い、ミニ図書館も設けています。自由に見学・閲覧できますので、皆さんぜひお越しください。

安威川ダムファンづくり会からのお知らせ

ファンづくり会では、部会の活動に参加してくれる方を募集しています。詳しくは下記をご覧ください。
また、安威川ダムはInstagramでもダムに関する様々な情報を随時更新しております。

AIGAWA.jp 検索

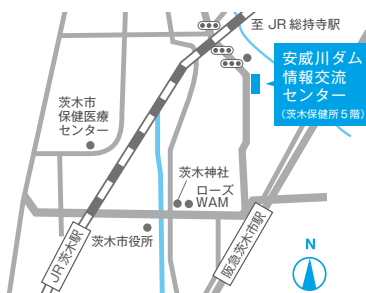
ファンづくり会情報サイト



facebook 安威川ダムファンづくり会 検索

facebook ページもぜひご覧ください

Instagram [安威川ダム Instagram]



安威川ダム情報交流センター
場 所：茨木市大住町8-11
開館時間：平日 10:00～16:00

<車でお越しの方>
国道171号西河原西交差点を南に下ってJR線高架下を通過した2つ目の信号を過ぎた左側にあります。
<電車でお越しの方>
阪急茨木市駅（北口）より北に向かって徒歩約10分。
JR総持寺駅（北口）より徒歩約10分。
※地下には駐車場がありますが、収容スペースに限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。